

マスクの効果

所長 宮下 明

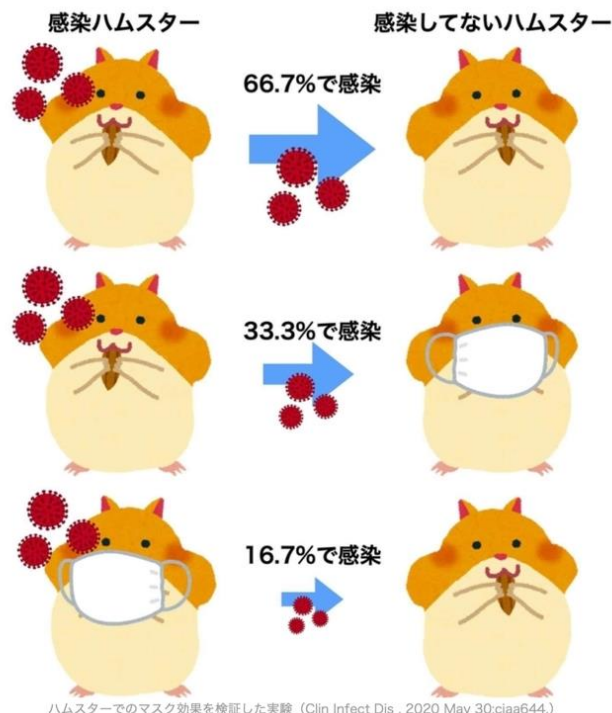
残念ながらまだまだ感染は続きます。毎日熱を測ってなるべく早く自分の異変に気づきましょう。診療所にも熱を測ってから来てください。受付で測る、37℃以上ある、あわてて隔離ゾーンに行く、これでは他の人にうつすことにもなりかねません。

診療所やスーパー、郵便局など不特定多数の人がいる室内では使い捨てマスク（フィルターの入っている不織布マスク）を装着しましょう。診療所では症状があってもなくても全ての方に使い捨てマスクを装着してもらっています。もちろん職員も全員つけています。新型コロナにうつらない、うつさないためです。コロナにかかった人は症状がなくてもウイルスを出すのです。今あなたが話している「いまは元気な相手」が2日後に熱が出て、コロナによるものとわかったら、あなたは感染している可能性が高くなってしまいます。反対に、人にうつさなければ、また人からうつらなければ、コロナの流行は収まっていきます。

図は2020年5月に行われた香港での実験です。私淑している国立国際医療センター 忽那賢志先生の作図です（なお、ハムスターが持っているのはタガメ？カミキリムシ？ひまわりの種ですよ）。

コロナに感染しているハムスターのかごを、感染していないハムスターのかごの横に置いて風を流しました。上段のように何も対策をとらなかったら、66.7%に感染が起きました。中段のように感染していないハムスターのかごをフィルター付きマスクで覆

マスクの効果を検証したハムスターの実験



ったところ、感染は半分(33.3%)に減りました。下段のように下段のように感染しているハムスターのかごをマスクで覆ったところ、感染は16.7%のみでした。この実験からわかるのは「かかっていない人がマスクをすることにより、ウイルスにうつるリスクを半分くらいに下げることができる」、また「コロナに感染している患者さんがマスクをすると、人にうつすリスクを1/4くらいにまで下げることができる」ということです。

この実験結果をもとに、診療所ではフィルター付きマスクを皆さんに使っていただいています。ただし、つけ方をしっかりとしないと、口鼻の周りに隙間が空いてしまいます。針金を鼻の形に合わせて曲げ、ヒダはしっかり開いて顔にピッタリくっつくように装着してください。